

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和3年1月7日(2021.1.7)

【公開番号】特開2019-95641(P2019-95641A)

【公開日】令和1年6月20日(2019.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2019-023

【出願番号】特願2017-225561(P2017-225561)

【国際特許分類】

G 03 G 15/20 (2006.01)

B 65 H 5/02 (2006.01)

G 03 G 15/00 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/20 505

B 65 H 5/02 A

G 03 G 15/00 460

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月18日(2020.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

無端状で回転可能な第1ベルトと、

画像加熱部を通って加熱された状態にある記録材を前記第1ベルトと協働して挟持搬送して冷却するニップ部を形成する無端状で回転可能な第2ベルトと、

前記第1ベルトの内側に配置され、前記ニップ部における前記第1ベルトの内面に接触して熱を受ける第1受熱部と熱を放熱するための第1放熱部を備えた第1冷却部材と、前記第2ベルトの内側に配置され、前記ニップ部における前記第2ベルトの内面に接触して熱を受ける第2受熱部と熱を放熱するための第2放熱部を備えた第2冷却部材と、を有し、

前記ニップ部における記録材搬送方向に関して、前記第1受熱部が前記第1ベルトの内面と接触している区間ににおいて前記第1ベルトと前記第2ベルトを挟んで対向側の前記第2冷却部材には前記第2受熱部はなく、

前記第1放熱部は前記第1受熱部よりも、および、前記第2放熱部は前記第2受熱部よりも、それぞれ、前記記録材搬送方向に関して長く、

前記第1放熱部が前記第2受熱部と、前記第2放熱部が前記第1受熱部と、それぞれ、前記記録材搬送方向に関してオーバーラップしていることを特徴とする記録材冷却装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上記の目的を達成するための本発明に係る記録材冷却装置の代表的な構成は、無端状で回転可能な第1ベルトと、

画像加熱部を通って加熱された状態にある記録材を前記第1ベルトと協働して挟持搬送して冷却するニップ部を形成する無端状で回転可能な第2ベルトと、

前記第1ベルトの内側に配置され、前記ニップ部における前記第1ベルトの内面に接触して熱を受ける第1受熱部と熱を放熱するための第1放熱部を備えた第1冷却部材と、前記第2ベルトの内側に配置され、前記ニップ部における前記第2ベルトの内面に接触して熱を受ける第2受熱部と熱を放熱するための第2放熱部を備えた第2冷却部材と、を有し、

前記ニップ部における記録材搬送方向に関して、前記第1受熱部が前記第1ベルトの内面と接触している区間ににおいて前記第1ベルトと前記第2ベルトを挟んで対向側の前記第2冷却部材には前記第2受熱部はなく、

前記第1放熱部は前記第1受熱部よりも、および、前記第2放熱部は前記第2受熱部よりも、それぞれ、前記記録材搬送方向に関して長く、

前記第1放熱部が前記第2受熱部と、前記第2放熱部が前記第1受熱部と、それぞれ、前記記録材搬送方向に関してオーバーラップしていることを特徴とする。